

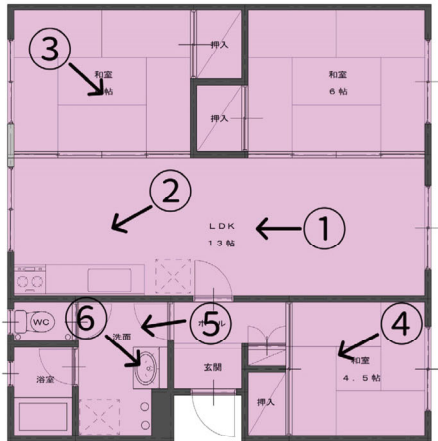
リフォーム前



▲間口の狭いLDKで家具の配置が難しい。

【基本構想】

築44年のマンションの全面リフォームを行い、5年間は賃貸物件として貸し出し、5年後に移住する計画であるとのこと。  
 早期に賃貸契約ができるよう、万人受けするデザイン、且つ、金額は最小限で、という課題を受け、予算的にも厳しい中デザイン性、使い勝手にこだわった設計を提案した。



▶洗面台横に污水配管が露出している。築年数を感ぜさせる洗面脱衣室。



リフォーム後



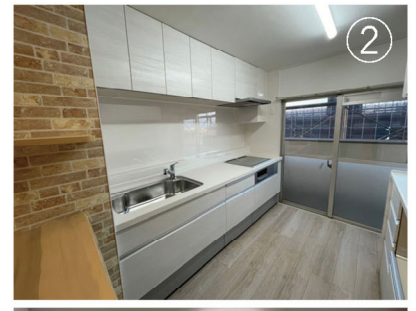
【デザインの特徴】

LDKの間口が狭く、各部屋を個別化すると圧迫感があるため、各部屋に引き込み戸を設け、借主の住み方によって、個室化や、LDKを広くできるような柔軟性を持たせる設計とした。また、お施主様が伐採し、乾燥させた銀杏の木を製材し、キッチン間仕切のカウンター天板として再生。一味違うカウンターとなった。



【技術的な工夫】

共同住宅では必須の、下階への騒音防止策であるが、防音床下地材を採用し、一般的な複合フローリング材を施工した。  
 また、洗面所では污水配管が露出していた為、点検口を設け清掃性に配慮し、配管を隠した。よって築44年とは思えない、綺麗な洗面所になった。



応募者・設計者・施工者	築年数	構造	建方形式	竣工	工事期間	工事費	所在地	リフォーム内容
(株)アリマコーポレーション	44年	鉄筋コンクリート造 12階建	共同住宅	2020年12月	60日間	600万	鹿児島市	全面リフォーム